

牡鹿半島流域環境再生プロジェクト

活動地域  宮城県



間伐した人工林への試験植樹

課題

ニホンジカの食害と林業の衰退により放置された人工林によって、森林の多面的な公益機能が衰退している。

目標

牡鹿半島の荒廃した針葉樹林や裸地を複層混交林として再生し、広葉樹林へと転換することで生物多様性環境が創出され、また、人の暮らしの資源として活用されている。



今後の
展望

苗木の生産や、山林への試験植樹等、実践にむけた活動に重点を置き、計画を実施していく。また、ニホンジカの調査研究も継続して実施し、ニホンジカ食害環境下における再生モデルを構築したい。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

本年度は、ニホンジカの食害への具体的対策の検討及び森林管理マップの拡大と、メイプルシロップ製造等出口戦略の検討に重点を置いた計画とした。山林の下層植生の回復への試行や土砂流出抑制方法を検討し、山林所有者については、およそ470ha分の所有者を把握した。新型コロナウイルスの影響により意向調査が予定より進められなかったため、次年度以降、山林所有者の意向調査に力を入れる。全体としての活動基盤（育苗地）等が整っており、苗木生産等の実践に力を入れていく。



メイプルシロップづくりのエコツアー

森林マップ作成 **470ha**

苗木生産 **2,000本**

今年度計画の達成度 **50%**

全体計画の達成度 **30%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

山林の区画が予想以上に細かく、山林所有者の人数が多いため、想定より多くの労力がかかった。

■ 工夫した点

委託した専門調査に全て同行し、調査スキルの向上を図り、自立的な活動へつなげられるように心がけた。

〒986-2341
宮城県石巻市荻浜山12-2
電話：0225-98-9172
E-mail：office@oshikalink.jp